

改訂版 大学・大学院

# 留学生の日本語

② 作文編 — Composition —

Japanese for International College / Graduate Students

▶ アカデミック・ジャパニーズ研究会 編著



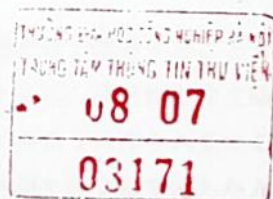
改訂版 大学・大学院

# 留学生の日本語

② 作文編 — Composition —

Japanese for International College / Graduate Students

▶ アカデミック・ジャパニーズ研究会 編著





## はじめに

『大学・大学院留学生の日本語』は、日本語の高等教育機関の専門分野の勉強をしようとする留学生などのために作成されたシリーズ教材です。これから日本の大学に入る人、高専や大学で学んでいる留学生、大学院入学をめざす研究生、大学院で研究している留学生や外国人研究者など、学術的な専門分野で勉強・研究をしようとするすべての日本語学習者が対象です。また、このシリーズ教材は、各専門分野にはほぼ共通する専門日本語の土台の部分を扱っていますので、文科系、理科系を問わず、どの分野の学習者にも役にたつ内容となっています。日本語の学習段階でいえば、読解編と作文編は中級、続刊の論文読解編と論文作成編は中級後半から上級に対応しています。

このシリーズ教材の最大の特徴は、専門分野での勉強・研究に不可欠な論理的思考による理解・表現能力の養成をめざしている点です。日本語の文法の積み上げ学習をし、たくさんの言葉を覚えても、論理的な文章の読み書きのしかたがわからないために、大学・大学院での勉強や研究に困難を感じている学習者が少なくありません。そこで、論理的な文章がどのようなものかということが練習を重ねていくうちに自然にわかり、最後には論理的文章を読み書きする力が確実につくような教材として、このシリーズ教材を作りました。

読解教材では、素材となる文章の論理的構造に着目した読みのスキルの習得をめざしています。読解編では報告文や論説文を読む力をつけ、論文読解編では学術論文を読むための基礎的な読解力を養います。一方、作文教材では、論文等の構成や展開パターンに即した練習を積みかさねることによって、学術的文章の作成技術の獲得をめざします。作文編では研究計画書の書き方を、論文作成編ではレポート、研究発表要旨、学術論文の基本的な書き方を学びます。

シリーズ中の各テキストは、一冊だけで学習することもできますが、併用すれば、より大きな学習効果が得られます。たとえば、読解編と作文編の各課の学習項目は、二冊を同時進行で使えばいっそう効果があがるように作られています。続刊の論文読解編と論文作成編の関係も同様です。また、読解編や作文編を終えた人は、論文読解編や論文作成編に進めば、より高次の読解力、作文力を身につけることができるでしょう。

このシリーズ教材は、東北地方の6大学の日本語教育関係者が、グループ内の執筆担当者が作った教材をくりかえし試用・補訂するかたちで、共同で作成したものです。数年にわたる教材作成の過程で、東京工業大学の仁科喜久子先生をはじめ、多くの方々に貴重なご助言とあたたかい励ましをいただきました。各専門分野の先生方や留学生にも、教材作成の素材や参考資料となる研究文献を快く提供していただきました。また、今回出版のはこびとなったのは、ひとえに株式会社アルク日本語編集チームのご理解とご支援のたまものです。協力者の方々に心から感謝の意を表します。

# ほんしょ　つか　かた 本書をお使いになる方へ

## I. 本書の目的

しょきゅう　まな　がくしゅうしゃ　たいしゅう　ぐたいてき　けんきゅうけいかくしょ　さくせい　もくてき　しょきゅうしゅうりゅうしゃ  
初級を学んだ学習者が対象です。具体的には研究計画書の作成を目的とし、初級終了者  
せんもんてき　ぶんしゅう　か　ひつよう　ひょうげん　ぶんぽう　さくぶん　き　そ　ちしき　まな  
が専門的な文章を書くために必要な表現、文法を、作文の基礎知識とともに学びます。

## II. 本書の構成

### 1. 全体の構成

#### 1) 第1課～第4課 作文の基本

しょきゅう　とく　さくぶん　じゅぎょう　と　い　おお　しょきゅうしゅうりゅう　だんかい  
初級では特に「作文」が授業に取り入れられていないことが多く、初級終了の段階  
では、学習者は作文自体になれていないことが多いようです。この第1課から第4課  
では、まず、ぶんしゅうさくせい　ひつよう　きほんじこう　がくしゅう  
文章作成に必要な基本事項を学習します。

#### 2) 第5課～第14課 研究計画書の作成

##### ① 第5課～第13課 計画書の作成に必要な表現を学ぶ

けんきゅうけいかくしょ　さくせい　もくじょう　せんもんせい　たか　ぶんしゅう　か　ちから　ようせい　けい  
研究計画書の作成を目標に、専門性の高い文章を書くための力を養成します。計  
かくしゅう　こうせい　そ　ろんぶんとう　さくせい　ひつよう　ひょうげん　まな　ひつ  
画書の構成に沿って、論文等の作成に必要な表現を学びます。また、そのために必  
よう　であり、ちゅうきゅうぜんはん　がくしゅう　ぶんぽう　じこう　どうじょう　うんよう  
要であり、中級前半で学習しておくべき文法事項を導入し、運用できるようにしま  
す。積み重ねて学習していくことによって、計画書が完成することを目指します。

##### ② 第14課 研究計画書を書く

けいかくしゅう　か　けんきゅうけいかくしゅう　か　けんきゅうけいかくしゅう　こうせい　まな  
計画書を書くために、まず研究計画書の構成パターンを学びます。パターンに沿  
て、ないよう　かんが　うえ　さいしゅうてき　けいかくしゅう　さくせい  
内容を考えて上で、最終的に計画書を作成します。

また、ほんしょ　かんまつ　じっさい　だい　か　こうせい　そ　がくしゅうしゃ　か  
また、本書の巻末には、実際に第14課の構成パターンに沿って、学習者が書い  
けんきゅうけいかくしゅう　けいさい  
た研究計画書を掲載してあります。

### 2. 各課の構成

#### 1) 第1課から第3課までの各課の構成

かく　か　もくじょう　ひょうだい  
各課の目標（表題）



さくぶん　ぎじょう　さくぶん　きほんじこう　せつめい　れいぶん　れんしゅうもんだい  
作文技術：作文のための基本事項（説明・例文・練習問題）



↓  
課題：文章の作成（学習した基本事項の運用）

2) 第4課から第13課までの各課の構成

各課の目標（表題）

↓  
文法：研究計画書の作成に必要な文法（説明・例文・練習問題）

↓  
書きましよう：文作成問題      A. 文法事項の基本的な運用力養成  
B. 計画書の表現のための文作成練習

↓  
課題：3段落での文章作成

「書きましよう」で文レベルで練習した論文等の表現を、まとまった文章の中で  
用います。

学習した文型、表現を使う課題を設定してあります。

各課とも、段落の展開を指示してあります。展開について意識するとともに、論  
理的に考える力を養います。

### Ⅲ. 授業での扱い方

1課を90分で行うことを想定しています。課題の作文を授業内で終了させるには、少なくとも30分から40分は必要です。その場合は練習問題を、学習者のレベルに合わせて調節してください。文法や練習問題に時間をかけたい場合は、課題の作文を宿題とします。

学習者には、作文を書く際、訂正のきくペンか鉛筆を用いることをご指示ください。

「書きましよう」の答えは、学習者が課題の作文を書いている間に教師が個々、訂正するとよいでしょう。課題の作文を書いている際も、机間巡視して誤用を指摘したり、質問に答えたりします。

各課の留意点については、別冊子の「各課の解説」をご覧ください。

執筆担当 山口弘美

# 目次

はじめに Preface .....	3
本書をお使いになる方へ To The User of This Book .....	4
<b>第 I 部 作文の基本</b> PART 1 .....	9
第 1 課 表記のしかた The Basics of Writing Composition .....	10
1. 文字や記号の書き方 Letters and Symbols	
2. 句読点の打ち方 Punctuation	
第 2 課 文体と書きことば Styles of Written Japanese .....	14
1. 文体 Sentence Styles	
2. 連用中止形 Verbal Connective Forms	
3. 書きことば Written Expressions	
第 3 課 段落に分ける Paragraph .....	20
1. 文章の構成 Construction of a Composition	
2. 段落内の構成 Paragraph Structure	
第 4 課 「は」と「が」 “は” and “が” .....	25
「は」と「が」の使い方 Usage of “は” and “が”	
<b>第 II 部 研究計画書の作成</b> PART 2 .....	31
第 5 課 テーマを述べる Setting a Theme .....	32
助詞相当語① Compound Particle ①	
第 6 課 理由・経過を述べる Reasoning and Passage of Time .....	37
1. 理由の表現 Expressions of Reason	
2. 時間の表現 Expressions of Time	
第 7 課 定義をする Giving Definitions .....	43
「こと」と「の」 “こと” and “の”	

だい か	ほんめい	の	を述べる	Description of Findings	48
第8課	判明していることを述べる				
	じょし そうとうご		助詞相当語②	Compound Particle ②	
だい か	もんだいてん	の	を述べる	Pointing out Issues	53
第9課	問題点を述べる				
	かんせつ ぎもん		間接疑問	Indirect Questions	
だい か	いんよう		引用する	Quotations	59
第10課	引用する				
	ぶんまつりげん	いんよう	文末表現～引用のしかた	Sentence Ending Particles	
だい か	かいけつさく	の	を述べる	Explaining Means of Solution	64
第11課	解決策を述べる				
	せつぞくけいげん		接続表現①	Conjunctive Expressions ①	
だい か	てじゆん	の	を述べる	Description of Procedure	70
第12課	手順を述べる				
	せつぞくけいげん		接続表現②	Conjunctive Expressions ②	
だい か	しじし	つか	指示詞を使う	Usage of Demonstrative Pronouns	75
第13課	指示詞を使う				
	しじし	ぶんまきしじ	指示詞 (文脈指示)	Demonstrative Pronouns	
だい か	けんきうけいかくしよ	か	研究計画書を書く	Writing Research Plans	80
第14課	研究計画書を書く				
	けんきうけいかくしよ	か	研究計画書を書く前に	パターン A/B	Pattern A/B
けんきうけいかくしよ			研究計画書	Samples of Research Plans	86
かんまつふろく			卷末付録	Appendixes	
	げんこうようし	つか	かた	たてが	
	1	原稿用紙の使い方	〈縦書き〉	Writing Vertically Using Manuscript Paper	92
	いけん	の	かた	しちりやう	
	2	意見の述べ方	～主張する	Expressing Opinions	93
	いけん	の	かた	はんだん	
	3	意見の述べ方	～判断する	Expressing Judgments	94
がくしやうこうもくいちらん			学習項目一覧		95
か だいいちらん			課題一覧		96
さんこうぶんけん			参考文献		97



市瀬 智紀 (いちのせ ともり)	高木 裕子 (たかぎ ひろこ)
稲村 真理子 (いなむら まりこ)	中島 美樹子 (なかじま みきこ)
内山 敦子 (うちやま あつこ)	仁科 浩美 (にしな ひろみ)
岡崎 正道 (おかざき まさみち)	福島 悦子 (ふくしま えつこ)
小山 宣子 (おやま のぶこ)	松岡 洋子 (まつおか ようこ)
川上 郁雄 (かわかみ いくお)	宮本 律子 (みやもと りつこ)
小池 恵己子 (こいけ えみこ)	*山口 弘美 (やまぐち ひろみ)
佐々木 順子 (ささき よりこ)	山田 一裕 (やまだ かずひろ)
佐藤 勢紀子 (さとう せきこ)	(*は執筆担当者)

このテキストについてのご意見などありましたら、下記までご連絡ください。

〒980-8576 仙台市青葉区川内 41  
東北大学高度教養教育・学生支援機構 気付  
アカデミック・ジャパニーズ研究会

## 改訂版 大学・大学院 留学生の日本語 ② 作文編

発行日	2001年11月10日(初版) 2015年5月28日(改訂版) 2020年6月4日(改訂版第6刷)
編著者	アカデミック・ジャパニーズ研究会
編集	株式会社アルク日本語編集部、株式会社エディボック
デザイン・DTP	株式会社エディボック、株式会社エヌ・オフィス
印刷・製本	萩原印刷株式会社
発行者	田中伸明
発行所	株式会社アルク 〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-6 市ヶ谷ビル Website <a href="https://www.alc.co.jp/">https://www.alc.co.jp/</a>

落丁本、乱丁本は弊社にてお取り替えいたしております。  
Webお問い合わせフォームにてご連絡ください。  
<https://www.alc.co.jp/inquiry/>



本書の全部または一部の無断転載を禁じます。  
著作権法上で認められた場合を除いて、本書からのコピーを禁じます。  
定価はカバーに表示してあります。  
製品サポート：<https://www.alc.co.jp/usersupport/>

©2015 稲村真理子 / 市瀬智紀 / 内山敦子 / 大口健志 / 岡崎正道 / 小山宣子 /  
川上郁雄 / 小池恵己子 / 佐々木順子 / 佐藤勢紀子 / 高木裕子 / 中島美樹子 / 仁科浩美 /  
福島悦子 / 松岡洋子 / 宮本律子 / 山口弘美 / 山田一裕 / ALC PRESS INC.  
Printed in Japan.

PC : 7015018  
ISBN : 978-4-7574-2632-0

地球人ネットワークを創る



アルクのシンボル  
「地球人マーク」です。